

情報セキュリティに関する懸賞論文募集要項

1 目的

インターネットの普及は目覚ましく、様々なサービスにより国民生活や社会経済活動において本格的にインターネットを利用する時代になりました。さらに、PCの機能を持つ携帯情報端末、例えばスマートフォンは人々のコミュニケーションの手段だけではなく、ビジネスでの活用も進められています。

そのような中、3月に発生した東日本大震災は情報インフラにも大きな被害を与え、インターネットや携帯情報端末の使用が制限されるとともに企業や自治体の事業継続にも大きな影響を与えています。

私ども財団法人防衛調達基盤整備協会としては、情報セキュリティ意識の向上に資するため、情報セキュリティに関する懸賞論文を募集するという事業を行っております。この事業は、多くの方から論文を応募していただき、情報保全意識を高め、優秀な作品を表彰し発表する事により、広く国民各層に情報セキュリティに対する知識と技術を広め、ひいては防衛基盤の強化に寄与することを目的として実施いたしております。

2 23年度懸賞論文のテーマ

23年度の懸賞論文のテーマは、四つの視点から選んでいただきます。

(1) 一つ目の視点は「災害時の情報システムのあるべき姿」です。

3月に発生した東日本大震災は情報インフラにも大きな被害・不安をもたらしました。インターネットや携帯情報端末装置が利用できなかつたり、データが損失したことによる企業・公共団体の事業継続への影響は甚大であります。さらに震災の被害や不安を悪用した偽情報を流すチェーンメールや募金活動を謳った偽サイトによるウィルス被害等も発生しています。

こうした状況から、今回は、情報セキュリティの3要素のうち、機密性だけではなく、完全性・可用性に焦点を当てた提言や意見を期待しています。たとえば、「情報インフラを提供する事業者や自治体によるインフラシステム復旧に向けた取り組み」、「通信事業者に望まれる災害時の情報伝達手段を確保するための取り組みや対策」といったテーマに関する論文を期待しています。

(2) 二つ目の視点は、「PC機能を持った携帯情報端末、例えばスマートフォンによるソーシャルメディア時代の情報セキュリティのあり方について」です。

スマートフォンやタブレットといった携帯情報端末は人々のコミュニケーションの一つの手段となっています。企業でも仕事の効率化のため、この携帯端末を実際のビジネスの中で活用していこうとしています。しかし、こ

うした携帯情報端末を標的にした不正ソフトはすでに国内外で確認されており、今後急激に感染範囲が拡大していくと懸念されています。しかしながら、こうした携帯情報端末においては、PC向けに採用されているような情報セキュリティ対策が十分に普及しているとは言い難い状況です。

携帯情報端末の利点やソーシャル・ネットワークの効果を活かしつつ、情報セキュリティを確保していくという課題に対する具体的な提言や意見を期待しています。

(3) 三つ目の視点は、「サイバーテロ攻撃への対応」というテーマにしました。

2009年7月、韓国や米国の政府機関、金融機関等のWebサイトを標的に大規模なDDos（分散型サービス妨害）攻撃が行われました。グーグル社に代表される国際的企業に対する不正アクセスも目立ちます。

このように社会的インフラともいべき機関や企業に対する、コンピュータやネットワークを利用した組織的攻撃の脅威が高まっている状況を、どのように捉え、どのように対処していけばいいのか、具体的に取り上げて下さい。たとえば、「法人における組織的なサイバー攻撃に対する心構えと基本対策」、「一般市民がサイバーテロ攻撃から身を守るための基礎教育」、又は「政府が採るべきサイバー攻撃への対策」等といったテーマの提言や意見を期待しております。

(4) 四つ目は、「自由課題」です。

上記のテーマの他に、「一般のユーザに対し、実効性のある情報セキュリティ対策を普及させるためにはどうあるべきか」や「コンピュータ社会と情報セキュリティ その問題点と対策」などがあります。増大し巧妙化する情報セキュリティの脅威に対し情報セキュリティ対策の重要性が増す一方、この脅威に対して一般のユーザとしてどう対応すべきか。また、どのように考えていくべきなのか、ということでもあります。

情報セキュリティの意識向上について皆様が日ごろ重要だと考えておられる視点からの提言をお願いいたします。

なお、冒頭にも触れましたとおり、本啓発事業の目的は、広く国民各層に情報セキュリティに対する知識と技術を広めることにあります。読み手が、それぞれのテーマについての理解を深め意識を高められるよう、具体的かつわかりやすい内容の論文、提言を期待しております。

参考までに、[過去3年間の受賞作品](#)はBSKのホームページに掲載しておりますのでご参照下さい。

3 応募資格

情報セキュリティに関心のある方で、「情報セキュリティに関する懸賞論文募集要項」に同意した方。

4 応募規定

- (1) 日本語の論文とし、6,000～8,000字以内。
(ただし、図表は含まない。)
- (2) 表彰の対象は、募集要項により応募のあった懸賞論文。
ただし、国、地方公共団体その他これらに準ずる機関からの委託を受けたり、他に発表したものの転用は除く。
- (3) 募集開始は4月28日(木)、締め切りは7月29日(金)到着分まで。
- (4) 図表等を他の文献から転用した場合は、その出典元を明記してください。
- (5) 応募作品の様式等
 - ・ A4版 横書き 34行×36字を標準とし、文字は12ポイント。
 - ・ PDF形式のものとし、
 - ・ 論文の提出方法は、メールにてお願いします。なお、当選者には別途Microsoft Wordで提出をお願いします。

E-mail : koueki@bsk-z.or.jp

- ・ 論文の提出にあたっては、応募原稿の表紙(字数制限に含まれません)に、「ご自分の書かれた内容にふさわしい具体的なタイトル」を表示してください。なお、氏名、連絡先等を必ず記載してください。

5 報奨の内容(贈賞・賞金)

報奨者(個人又はグループ)には、次の賞状等を贈呈。

- (1) 賞状
- (2) 賞金(最優秀賞1名に対し50万円、佳作は3名以内)

6 選考等

「情報セキュリティ論文選考等委員会」において、公平、適正に審査し、結果の発表は、受賞者に対してのみ、平成23年11月中旬に通知します。

7 作品の取り扱い

- (1) 応募された作品は返却いたしません。
- (2) 受賞作品の著作権は、当協会に帰属するものとし、当協会のホームページに掲載するとともに小冊子を作成、配布します。